

令和6年度北海道自給飼料生産優良事例・研究成果発表会 開催要領（案）

1 趣 旨

北海道の酪農畜産は、広大な自給飼料基盤を背景に発展してきましたが、高齢化の進展や労働力不足などによる草地更新の遅れ、雑草の侵入、マメ科牧草率の低下など植生の悪化による収量の減少などの課題も顕在化しています。また、円安等による資材高騰などが経営を大きく圧迫しているところです。

こうしたことから、これまで以上に自給飼料基盤に立脚した酪農畜産経営を推進するため、優良事例・研究成果発表会を開催します。

2 主 催 北海道自給飼料改善協議会

（構成団体）北海道、道総研農業研究本部、北海道農業協同組合中央会、
ホクレン農業協同組合連合会、公益財団法人北海道農業公社、
雪印種苗株式会社、一般社団法人北海道酪農畜産協会

※「北海道自給飼料改善協議会」は、平成24年から自給飼料の向上・改善に向けて活動しています。

3 開催年月日 令和7年2月18日（火）13：00～17：30

4 開催場所 ANAクラウンプラザホテル札幌 3階「鳳」 札幌市中央区北3条西1丁目 TEL 011-221-4411

5 スケジュール（予定）

13：00～ 開 会

13：10～13：50 話題提供

「自給飼料を取り巻く情勢と予算の概要」（仮）

農林水産省 畜産局飼料課飼料生産計画班

課長補佐 植木 智也

13：50～14：50 優良事例発表

「TMRセンターにおける自給飼料増産に関する取組み」

（株）西興部グラスフィードファクトリー

取締役 宿野部 猛

15：00～15：40 話題提供

「自給飼料生産優良事例発表会11年間の発表を振り返って」（仮）

ホクレン農業協同組合連合会 酪農畜産事業本部

技監 岩渕 慶

15：40～16：20 研究成果発表

「多回刈り実践農家における作業効率の実態調査」

酪農試験場 飼料生産技術グループ

研究職員 清野 大樹

16 : 30～17 : 30 全体討議「飼料高騰下における自給飼料生産の重要性」
座長 : 北海道農政部技術普及課 総括普及指導員 長井 淳一
パネラー : 農林水産省 畜産局飼料課飼料生産計画班
課長補佐 植木 智也
(株)西興部グラスフィードファクトリー
取締役 宿野部 猛
ホクレン農業協同組合連合会 酪農畜産事業本部
技監 岩渕 慶
酪農試験場 飼料生産技術グループ
研究職員 清野 大樹
北海道農政部畜産振興課 課長補佐 舟渡 進也

17 : 30 閉 会

- 6 参集範囲 生産者、J A、市町村、普及センター、関係機関・団体等
- 7 参加申込 締め切り 令和7年1月31日(金)
申込方法:別紙申込様式 (<https://rakutiku.or.jp>よりダウンロード)
により、事務局へメール又はF A Xで申し込み願います。
事務局申込先 E-mail : jikyu@rakutiku.or.jp
FAX : 011-209-8560
- 8 照 会 先 北海道自給飼料改善協議会事務局 :
(一社)北海道酪農畜産協会事業推進部 TEL 011-209-8555